

最近の経済情勢

(県内企業経営状況調査の結果)

- ◇ 調査期間 令和4年8月9日～8月22日
- ◇ 対 象 県内企業500社対象
 - ・有効回答173社：回答率34.6%
 - ・内訳：製造業 250社(回答97社)
非製造業 250社(回答76社)
- ◇ 方 法 Webアンケート

産業労働部

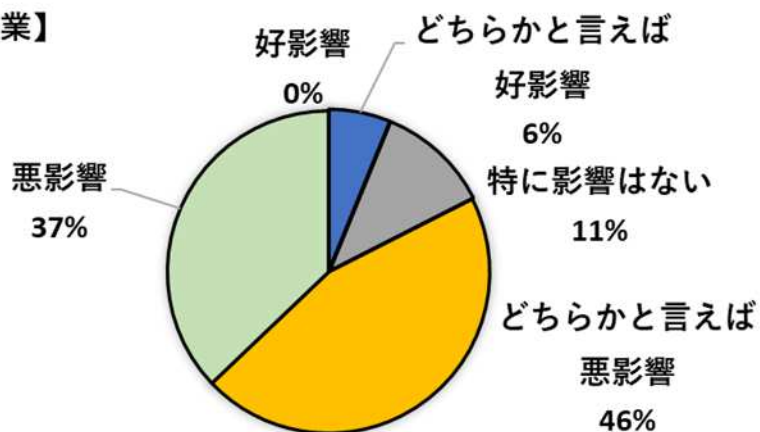
設問

- 1 新型コロナウイルス感染症が経営に与えている影響
- 2 原材料・エネルギーコストの状況：①1年前との比較、②価格転嫁状況
- 3 業況：①現況、②3か月前との比較、③今後(3か月程度)の見通し
- 4 経営課題
- 5 設備投資：①取組姿勢、②予定している設備投資の目的
- 6 雇用状況：①従業員数の過不足の状況、②過不足職種

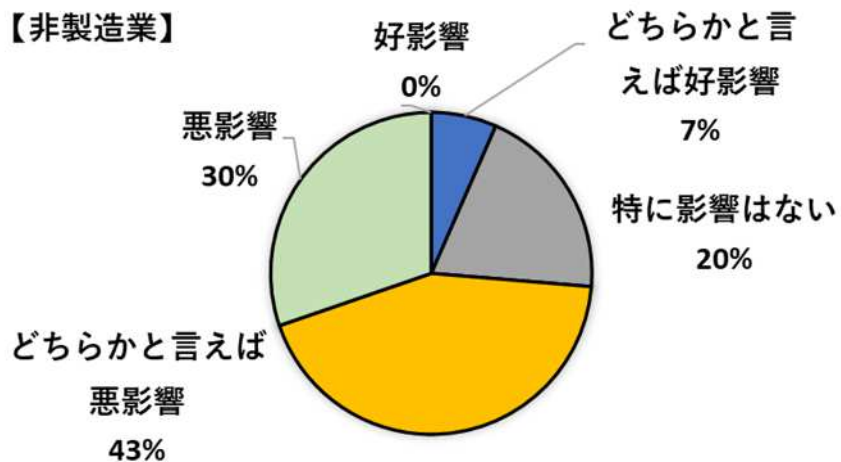
1. 新型コロナウイルス感染症が経営に与えている影響

- 「悪影響」と「どちらかといえば悪影響」を合わせた割合が製造業は約8割、非製造業は約7割で、いずれも前回より増加。
- 「感染・濃厚接触による従業員の出勤停止に伴う事業への影響」に関するコメントを記載した企業は製造業の約3割、非製造業の約2割。

【製造業】

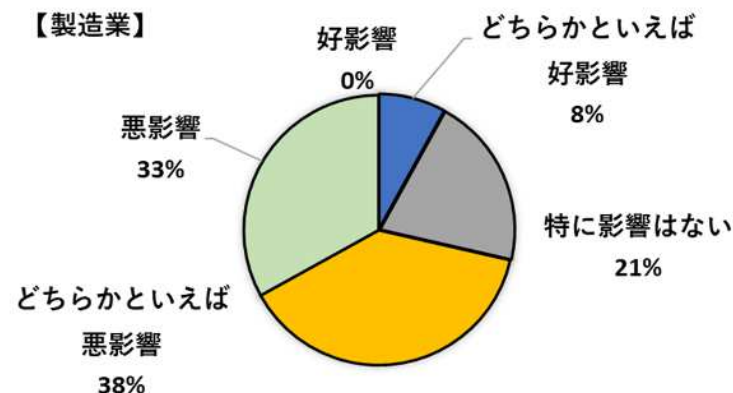


【非製造業】

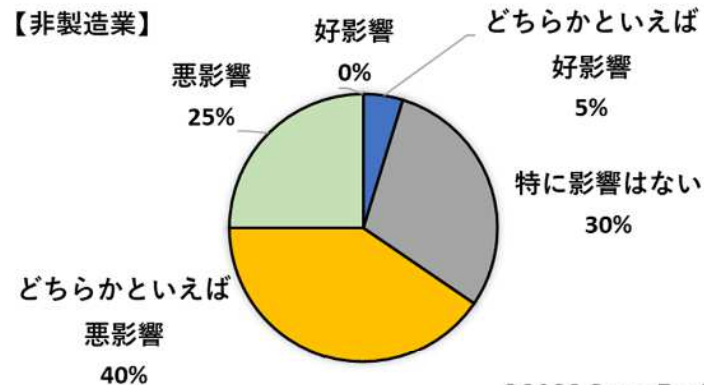


(参考) 前回(令和4年5月)調査時

【製造業】



【非製造業】



1. 企業の主なコメント

製造業

どちらか
といえば
好影響

・力を入れていた通販が大きく伸長し、利益率も向上。

(食料品製造業)

影響無

・ユーザーが多く、業界に渡るため、全体の製品需要で見ると増減が少ない。

(パルプ・紙・紙加工品製造業)

どちらか
といえば
悪影響

・イベント開催の減少で、広告含めイベントに関わる紙媒体の発行数の減少。
リモートワークや会議の増加により、総会や会合による紙媒体資料の減少。

(印刷業)

悪影響

・コロナの影響を受け、景気の先行きが見通せない中、取引先の中には設備投資に慎重になっているところが多く、商談がなかなか進まない。

(生産用機械器具製造業)

非製造業

どちらか
といえば
好影響

・感染対策商品の需要増。

(機械器具卸売業)

影響無

・内食需要の高まりも収まりつつある。

(飲食料品卸売業)

どちらか
といえば
悪影響

・給湯器など一部納品遅滞が解消していない品物があり、お客様をお待たせしている。

(その他の小売業)

悪影響

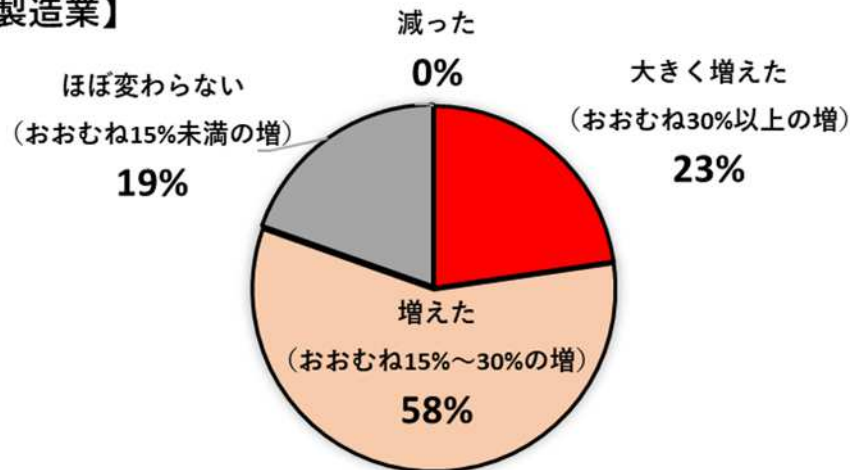
・6月あたりまで旅行需要が徐々に回復していたが、7月以降悪化している。

(旅行業)

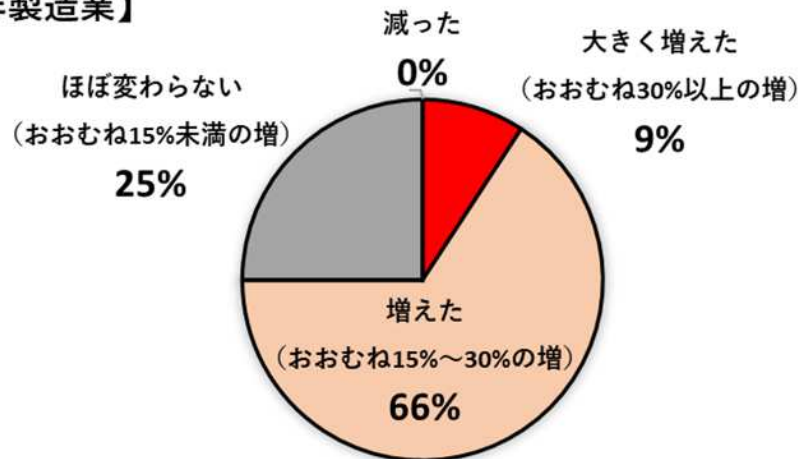
2. 原材料・エネルギーコストの状況 - 1年前との比較 -

- 「大きく増えた」と「増えた」を合わせた割合が製造業、非製造業ともに約8割。
- 非製造業は前回より増加。

【製造業】

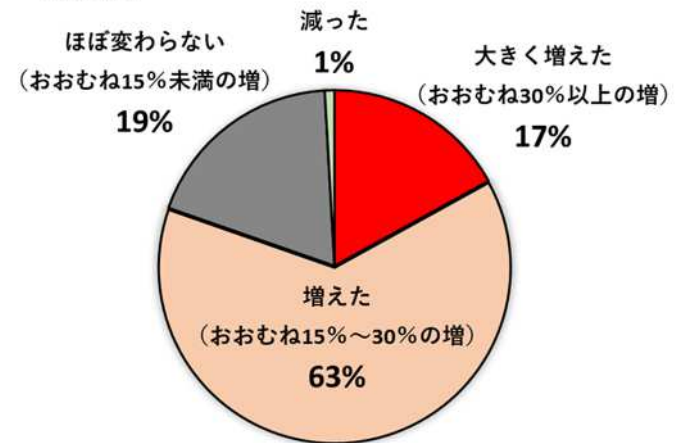


【非製造業】

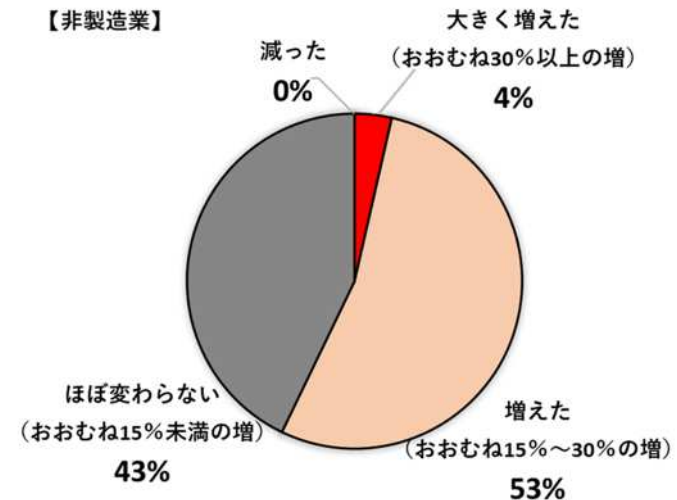


(参考) 前回(令和4年5月)調査時

【製造業】

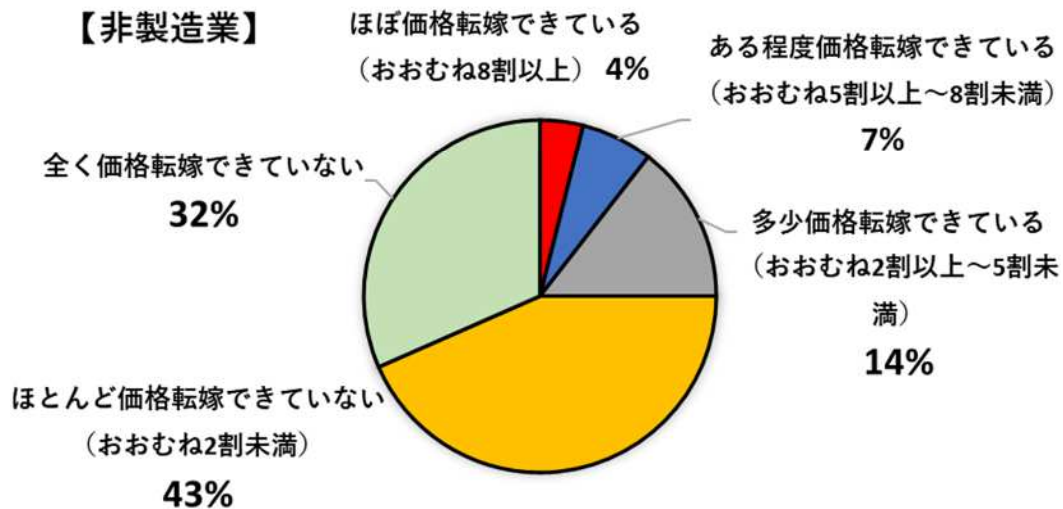
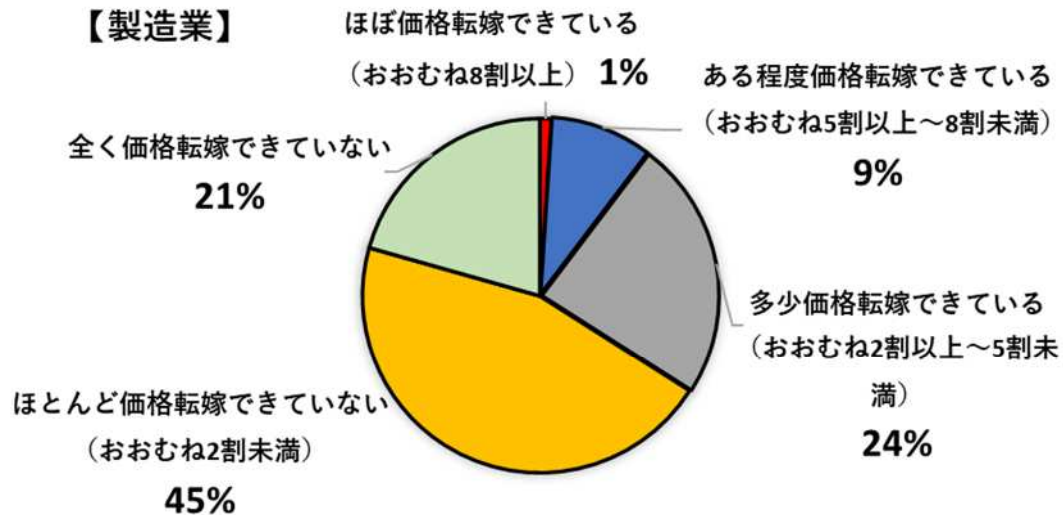


【非製造業】

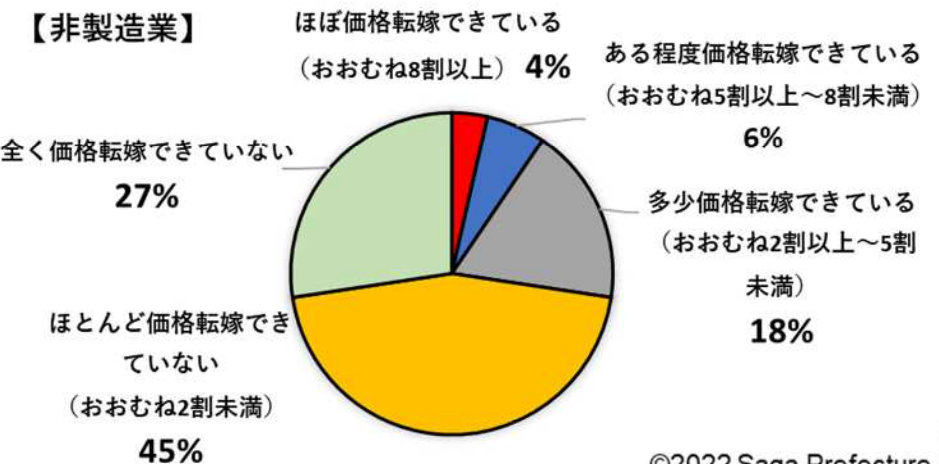
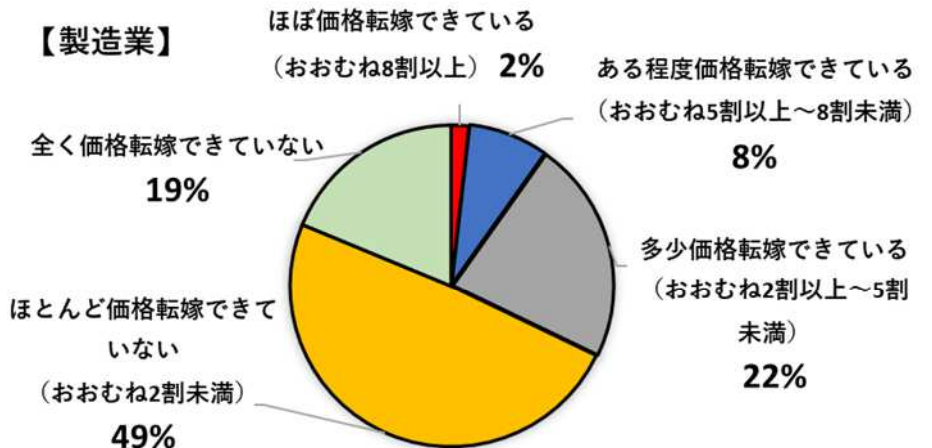


2. 原材料・エネルギーコストの状況 - 価格転嫁状況-

- 製造業、非製造業ともに、前回から大きな傾向は変わらない。
- 「全く価格転嫁できていない」と「ほとんど価格転嫁できていない」を合わせた割合が製造業で約7割、非製造業で約8割。



(参考) 前回 (令和4年5月) 調査時

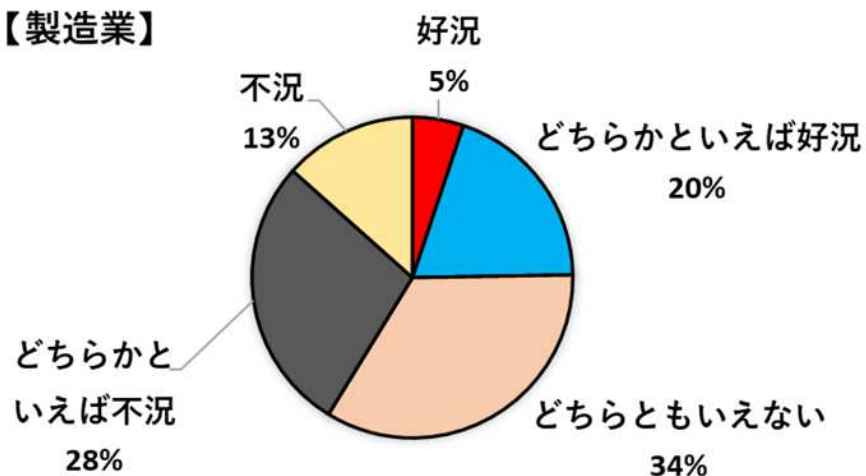


3. 業況 - 現在の業況 -

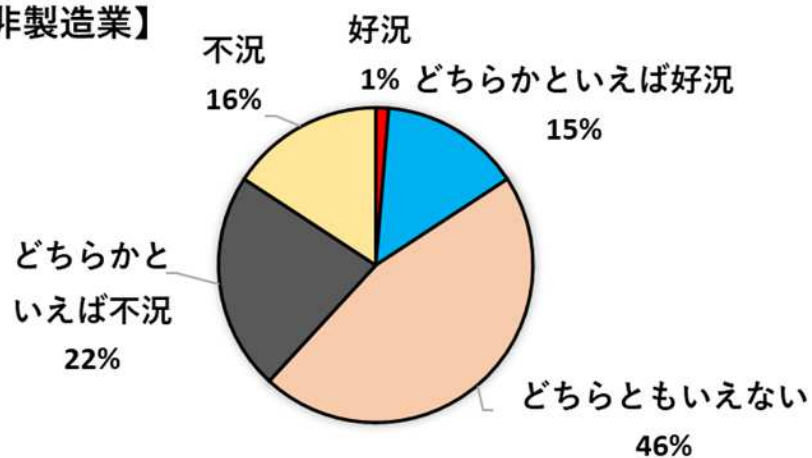
○ 「不況」と「どちらかといえば不況」を合わせた割合が製造業、非製造業ともに約4割。

○ いずれも前回よりやや増加。

【製造業】

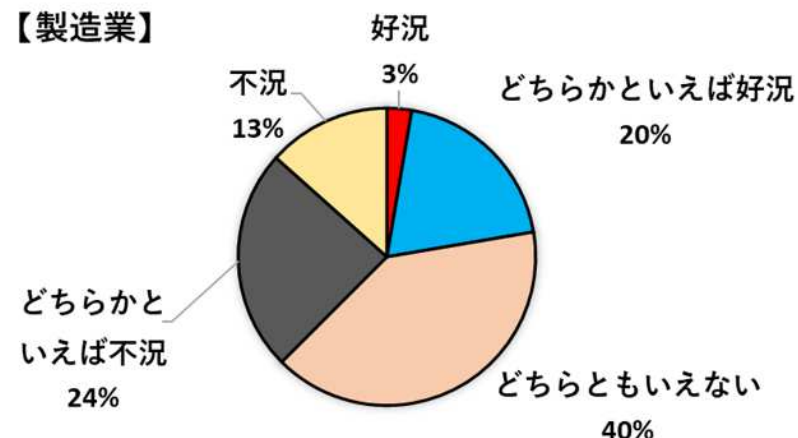


【非製造業】

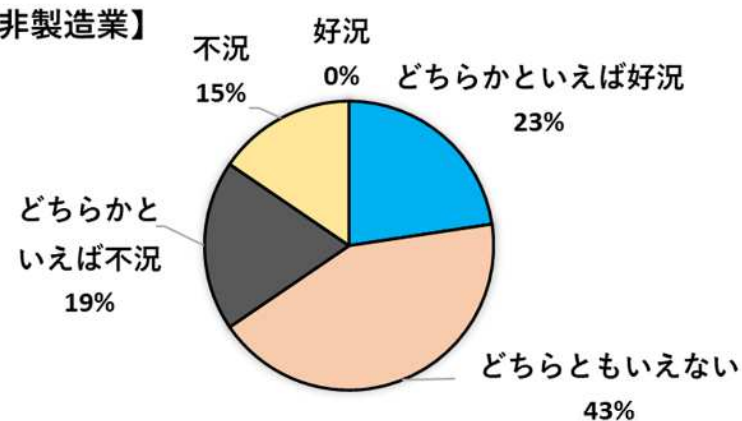


(参考) 前回(令和4年5月)調査時

【製造業】



【非製造業】

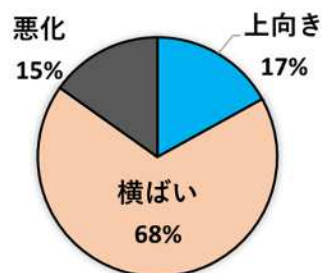


3. 業況 - 変化 (3か月前→現在→3か月後)-

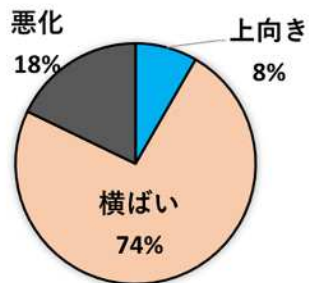
- 3か月前から現在までの業況は、前回調査時の予測と比べ、製造業、非製造業ともに「上向き」、「悪化」のいずれも増加。
- 今後3か月の業況は、製造業では「悪化」が減少、非製造業では「上向き」が減少し、「悪化」が増加。

(参考) 前回(令和4年5月)調査時の
現在→3か月後の予測

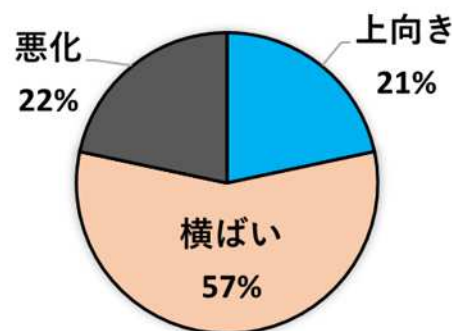
【製造業】業況の変化(現在→3か月後)



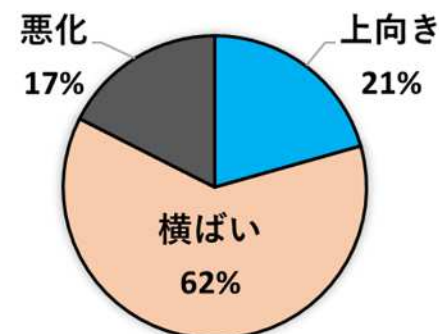
【非製造業】業況の変化(現在→3か月後)



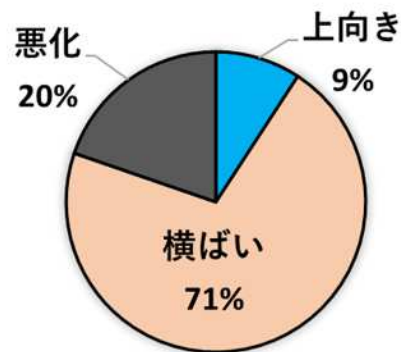
【製造業】業況の変化(3か月前→現在)



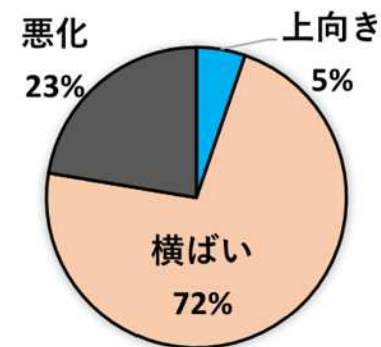
【製造業】業況の変化(現在→3か月後)



【非製造業】業況の変化(3か月前→現在)

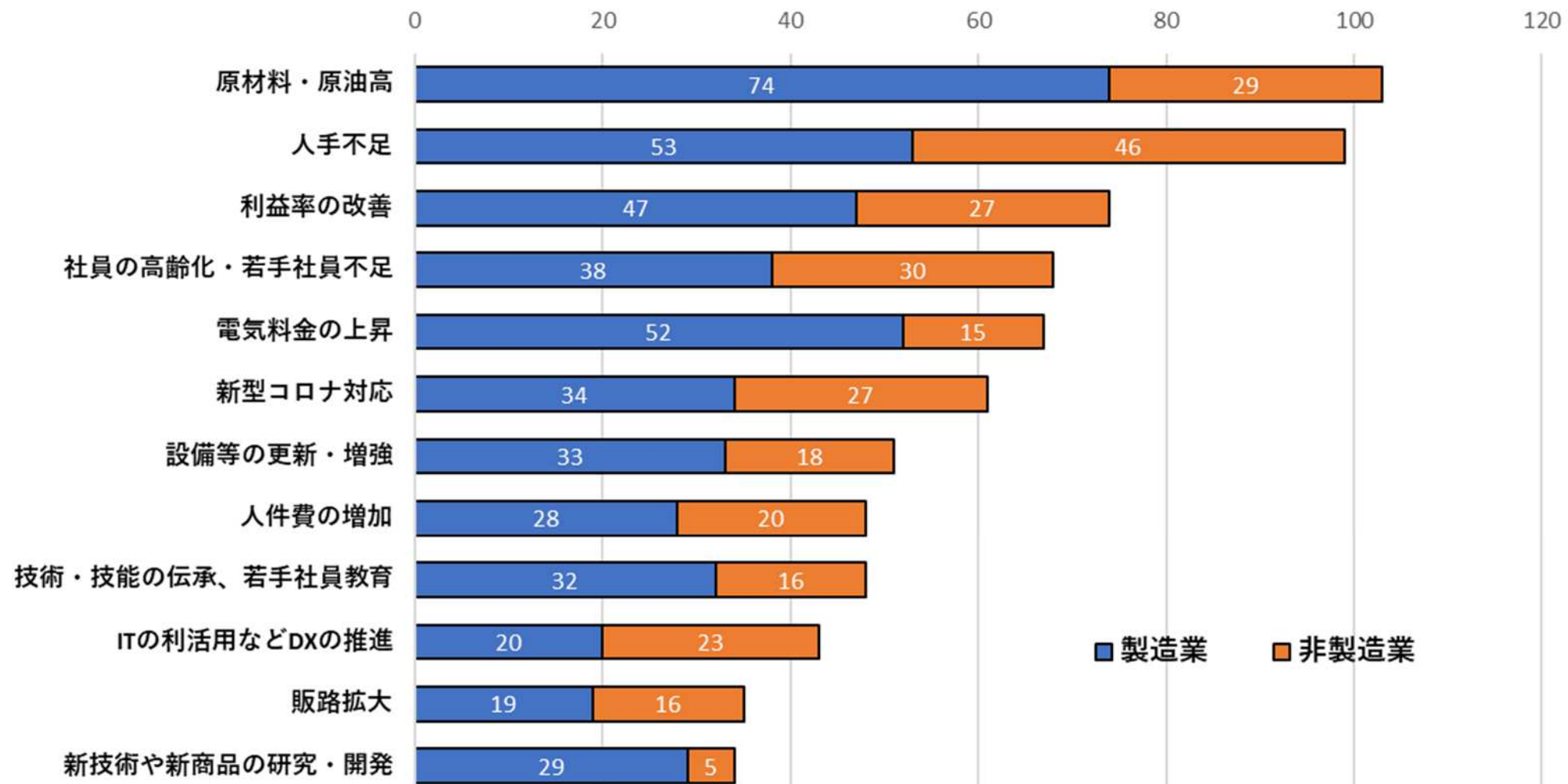


【非製造業】業況の変化(現在→3か月後)



4. 現在の経営課題 (複数回答)

製造業	原材料・原油高	74社 (76%)	非製造業	人手不足	46社 (61%)
	人手不足	53社 (55%)		社員の高齢化・若手社員不足	30社 (39%)
	電気料金の上昇	52社 (54%)		原材料・原油高	29社 (38%)



(選択社数30社以上の選択肢のみ記載)

4. 企業の主なコメント

製造業

【原材料・原油高】・【電気料金の上昇】

・原材料価格が高騰しており収益を大きく圧迫している。

(金属製品製造業)

・新電力の事業撤退により電気料金が高騰している。

(電気機械器具製造業)

【人手不足】

・人員確保が難しいため、設備投資による生産性の向上とそれによる社員の所得向上、労働環境の改善、社員の多能化が喫緊の課題。

(食料品製造業)

非製造業

【人手不足】・【社員の高齢化・若手社員不足】

・人員含め経営資源が脆弱で、DX推進により効率化を図りたい。

(各種商品小売業)

・受注が好調であり技術者が不足している。新卒はここ3年わずかではあるが採用しているがまだ独り立ちできる状況ではなく定年の延長もせざるを得ない状況。

(総合工事業)

【原材料・原油高】

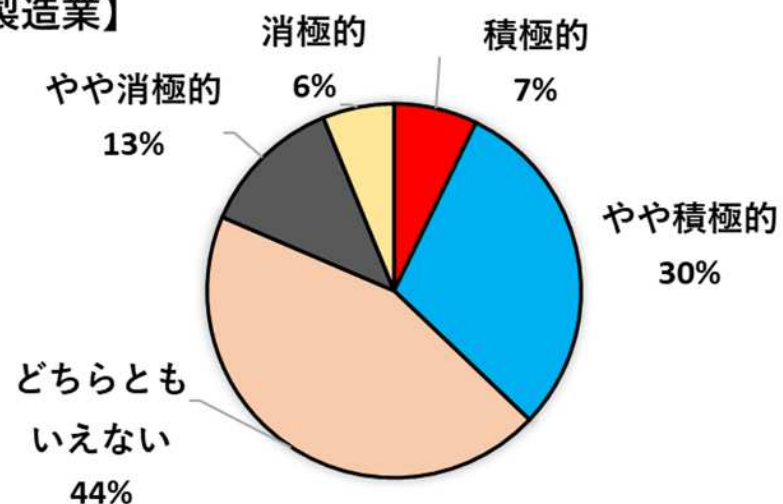
・人件費、輸送費、仕入価格の上昇をすべて販売先へ転嫁できれば問題ないが、全てを転嫁できる可能性は極めて低い。

(機械器具卸売業)

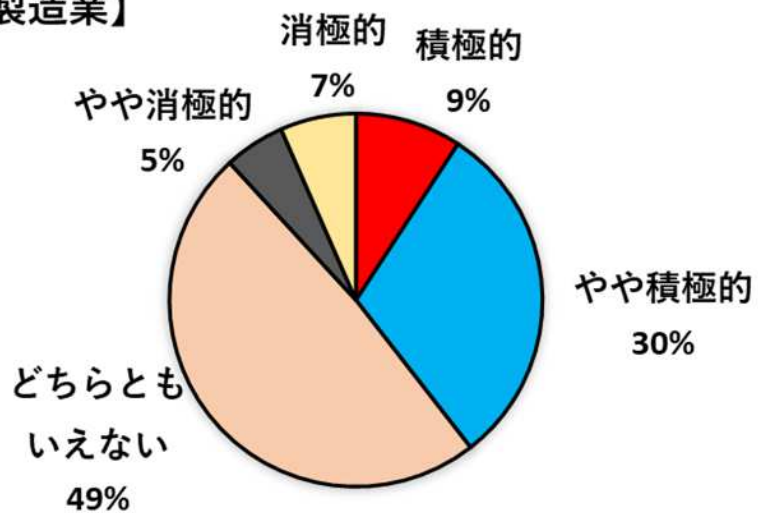
5. 設備投資 - 取組姿勢 -

- 「積極的」と「やや積極的」を合わせた割合が製造業、非製造業ともに約4割。
- 非製造業は前回より減少。

【製造業】

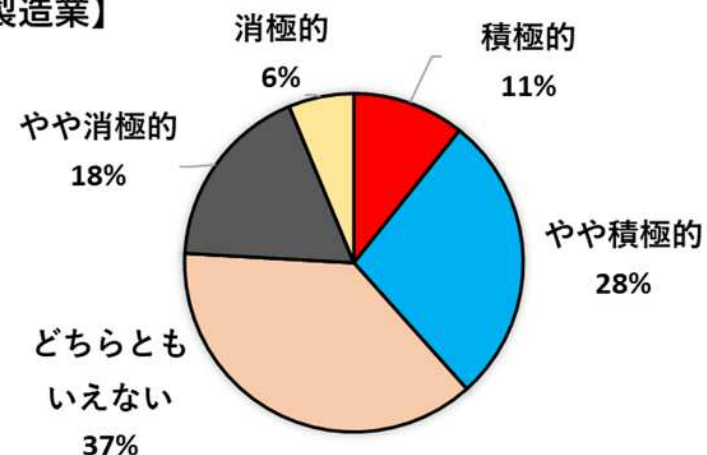


【非製造業】

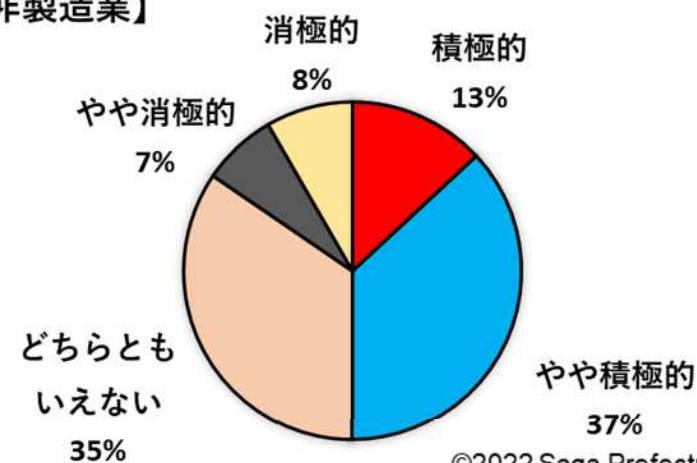


(参考) 前回(令和4年5月)調査時

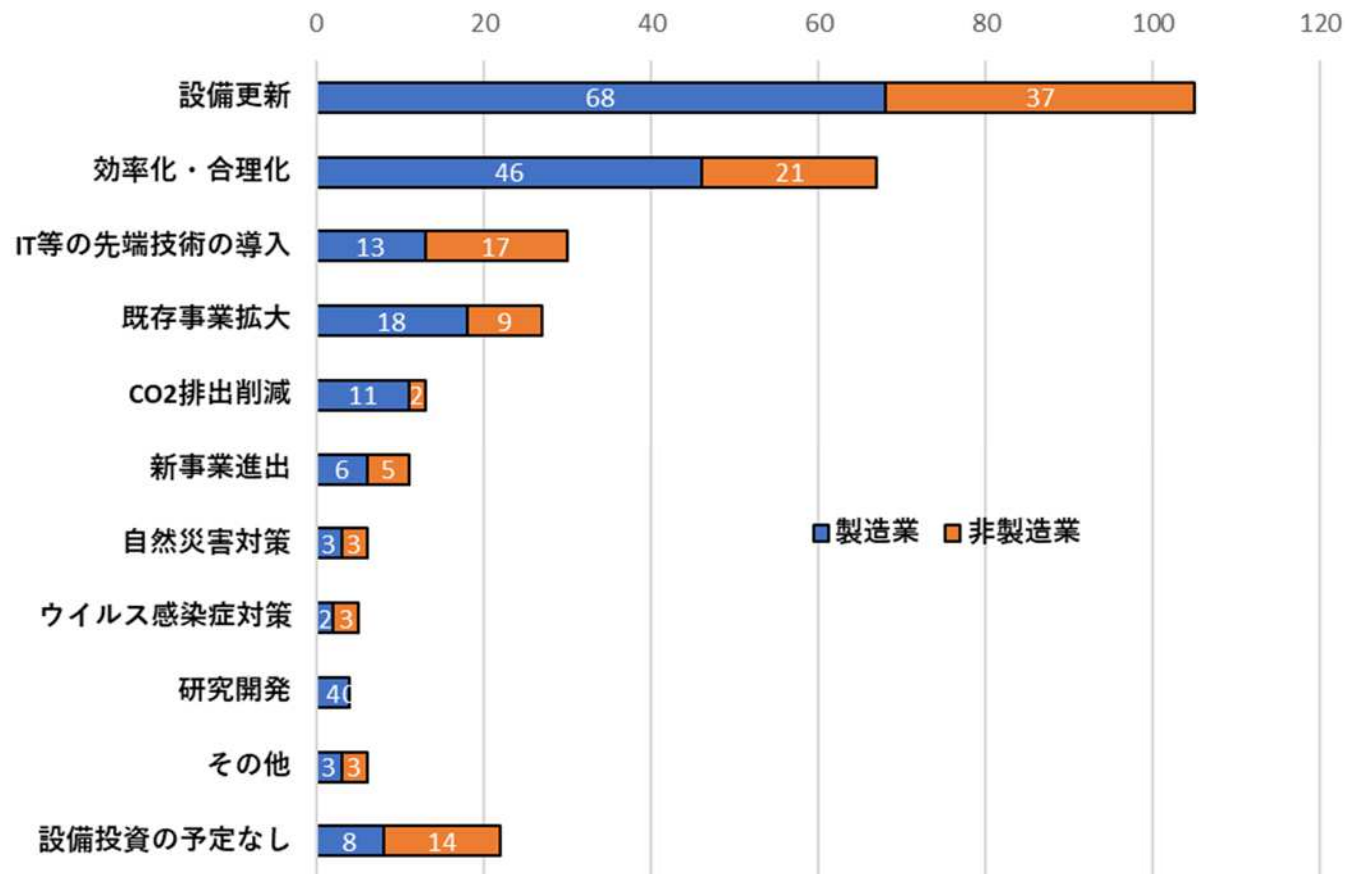
【製造業】



【非製造業】



5. 設備投資 - 目的 -



企業の主なコメント

- ・老朽設備の更新に合わせ、カーボンニュートラル対応も兼ねた高効率設備へ転換していくことを基本としている。
(電子部品・デバイス・電子回路製造業)
- ・人手不足を補うため、生産効率改善のためロボットを始めとした装置への投資を行う。
(金属製品製造業)
- ・重油、電気の使用量を抑える制御機器の導入を検討している。

(洗濯・理容・美容・浴場業)

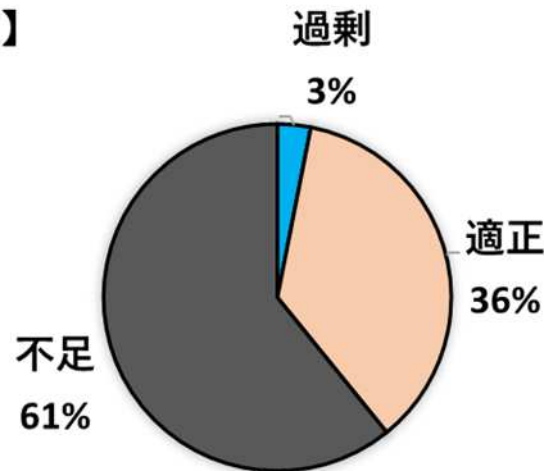
6. 雇用状況 - 過不足感 -

○ 「不足」の割合が製造業は約6割、非製造業は約7割で、いずれも前回より増加。

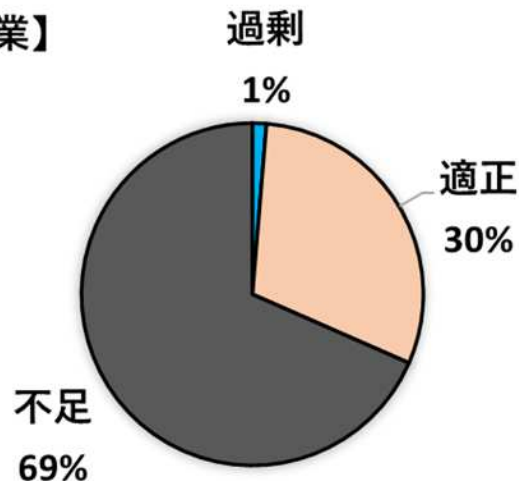
○ 「不足」職種の上位は、製造業で技能工(66%)、単純工(46%)、非製造業で専門・技術(44%)、販売・営業(42%)。

(複数回答、括弧内は「不足」と回答した企業中の回答割合)

【製造業】

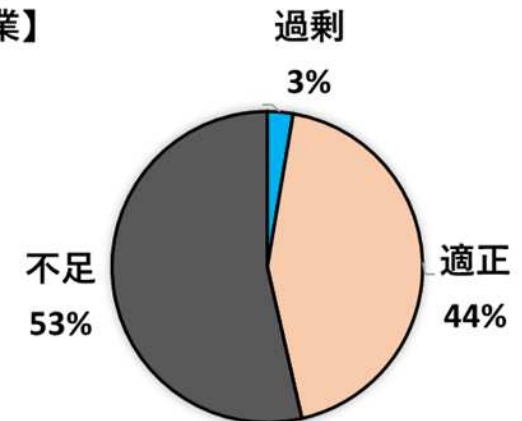


【非製造業】

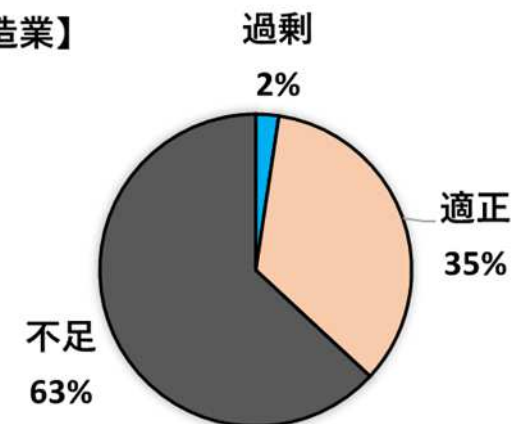


(参考) 前回(令和4年5月)調査時

【製造業】



【非製造業】



6. 企業の主なコメント

製造業

「不足」

- ・仕事があっても人がいない状況が続いている。正社員、パート従業員を含め応募がない。
(輸送用機械器具製造業)

「適正」

- ・現状人数の雇用をしっかり守ることが重要。
(窯業・土石製品製造業)

非製造業

「不足」

- ・運営事務局の人員は確保できているが、館内テナントでは慢性的に人員不足の店舗も多く、求人募集はかけているが人員確保に苦戦している状況。
(不動産賃貸業・管理業)
- ・募集をしているが、なかなか技術者がいない。
(情報サービス業)